

都市計画道路 西九条佐保線の変更理由書

1. 路線の概要

都市計画道路 西九条佐保線（以下「西九条佐保線」という。）は、起点を奈良市東九条町、終点を奈良市法華寺町とし、奈良市内を南北に縦断する標準幅員23m、4車線、延長約4,000mの幹線街路である。

本路線は、京奈和自動車道（大和北道路）の（仮称）奈良インターチェンジ（以下「（仮称）奈良IC」という。）から奈良中心市街地にアクセスする道路に位置付けられ、市内中心部の交通機能を向上させる重要な役割を担っている。

昭和41年に都市計画決定され、平成20年3月に、京奈和自動車道（大和北道路）の都市計画決定にあわせ、京奈和自動車道（大和北道路）の（仮称）奈良ICと連結し、（仮称）奈良ICから都市計画道路 大森西町線（以下「大森西町線」という。）付近までの約980mの間を高架構造に変更した。

整備状況は起点から北へ約800m区間（2車線）及び都市計画道路 大宮通り線から終点までの約500m区間（4車線）の合計約1,300m区間が完成している。

2. 都市計画道路の変更内容

（1）変更の理由

（仮称）奈良IC周辺地域においては、都市計画道路 八条紀寺線（以下「八条紀寺線」という。）が（仮称）奈良ICやJR関西本線を高架で越える構造で計画されていたが、将来交通量が大幅に減少するという社会情勢の変化を受け、都市計画道路としての必要性を検討したところ、その必要性が認められない結果となった。今回、八条紀寺線の廃止と併せてこの地域の交通や土地利用のあり方を検討した結果、JR関西本線を高架化し西九条佐保線を平面化することが地域分断の解消、地域交通の円滑化及び都市機能の向上に寄与するため都市計画を変更するものである。

（2）変更の内容

（仮称）奈良IC付近から都市計画道路 大森高畑線までの約1,490m区間について以下の変更を行う。

- 1）（仮称）奈良ICから大森西町線付近までの2車線の高架道路（ランプ）約980mを、（仮称）奈良ICからJR関西本線との立体交差付近までの約260mに変更する。
- 2）嵩上式構造から地表式構造への変更により、道路線形及び区域を変更する。